第4回ゆいごん大賞選考結果発表 受賞作品一覧

(講評:全日本川柳協会)



かあさんを 頼むと父の 強い文字 ちゅん/主婦

講評 夫婦でもいずれはどちらかが先に逝きます。父さんが遺言に「くれぐれも母さんを頼む」と 家族に念を押して頼んでいます。下五の「強い文字」という表現は愛していた妻への思いを如実に表しています。



遺言で 結び直した 赤い糸

富クル-ズ 61歳/主婦

講評 この赤い糸を絶対に切ってはならぬとの切なる思いが伝わってきます。家族はバラバラになってはいけない、ワンチームで仲良くしてほしい、家族のつながりを大事にしてほしい、そんな気持ちを遺言に托しています。



相続で 困る田舎の 古い家

紫苑 74歳/無職

講評 古里の古民家、今では過疎化して誰も継ぐ人がいません。最後まで伝来の家を守るつもりでしたが、家族は都会に出て帰る気はありません。この家の相続で財産や孫たちにどう遺言したらよいかわからず、継ぐ人のいない実家の遺言は少子化時代の大きな問題となっています。



今日は書く 明日は書こうと 遺言書

ットム 73歳/無職

講評 遺言書をきちんと書こうと思ってもなかなか書けないのが世の常です。気分的に自分がいなく なるという思いに寂しさもあり、まだまだ書くのは早い、引き伸ばしたい、という思いも浮かんでく るとなかなか書けません。正月の三が日に遺言をしたためるなど、書くきっかけや習慣を身に付けるのも良いかもしれません。

佳作

寄付されて くやしいエライ 父らしい

いなさく 69歳/ 無職

たかが紙 されど争い なくす紙

蒼介 43歳/ 会社員

グーグルも 知らない父の 生きた地図

光虫 31歳

書き終えて 妻に赤ペン 入れられる

さごじょう 37歳/公務員

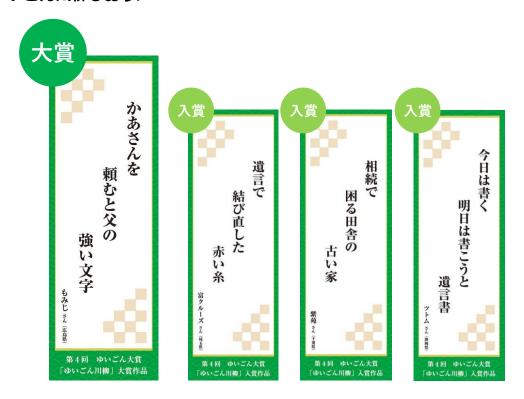
負債額 つぶやくだけで 皆離れ

いぶしぎん 67歳/無職

あれこれと 書いたがつまり ありがとう

やまとも 35歳/その他

<ゆいごん川柳しおり>



期間限定で、東京・名古屋・大阪の書店で配布されるゆいごん川柳しおり